

会員の皆様へ 安藤前会長よりメッセージ

予期もしなかった新型コロナ感染症渦のなかで会員の皆様にとって大切な総会を書面審議という形で実施いたしました。皆様のご理解ご協力のお陰で無事に終了できたことを心から御礼申し上げます。

さて、私とケアマネ連協は介護保険制度が開始となる前年から官民協働という形でのケアマネ連協設立準備委員会 事務局長として関わらせていただいたのが始まりでした。初代会長の蓮澤先生の後を平成14年度から短期間のつもりでお引き受けいたしました。令和2年総会まで長々と担ってしまい様々にご迷惑をおかけしたかと思えます。この間、10周年記念事業、そして先日の20周年記念事業と大きな事業を、役員の皆様、記念事業実行委員会の皆様、そして何より会員の皆様のご協力により盛会で終わることができたことは、私の人生の1ページに深く刻み込まれている次第です。

心の奥底から感謝の一言につきます。

20数年の間には、様々な職種の方々との出会いがあり、医療職の自分には思いもつけない考え方など色々と教をいただき人間的に一回り大きくなった気がしています。

超高齢化が進んでいる社会環境には、様々な問題が山積しています。在宅介護と在宅医療等との連携においては、まだ多職種連携協働が実際としては不完全なままです。様々な職種があり、その考え方も職種夫々ですんなりとは進んでいかないと思いますが、兎にも角にも「どげんかせないかん」という思いです。

もちろん、対人援助専門職としての、更なるレベルアップが不可欠であることは言うまでもありません。共通研修、基礎研修、熟達研修と他の連協とは一味も二味も違う研修を一人でも多くの皆様が受講して更なるレベルアップに挑戦していただくことを切望する次第です。

最後になりますが、林会長をはじめとした若い力が結集した新執行部に対し今後も絶大なご協力ご支援を、切に切にお願いして退任の挨拶に代えさせていただきます。

あっという間に過ぎてしまう10年！

若いつもりでも10年後はほぼ80歳ですが、30周年記念事業を健康に留意しながら楽しみにして過ごしていければと思っています。

令和2年5月12日

安藤 寛治